

石のひっこじ だより

平尾台の野草だより 12月初旬 実とか種とか

草原や森を彩った野草も、12月には殆どが実や種に変身して次の世代へ引き継ぐ準備を整えています。風で運ばれるものや鳥のエサとして運ばれるものなど、さまざまな形で子孫を残そうとしています。それぞれがいろいろな工夫をした形や色をしています。そんな野草を観察していると、なんだか楽しくなります。

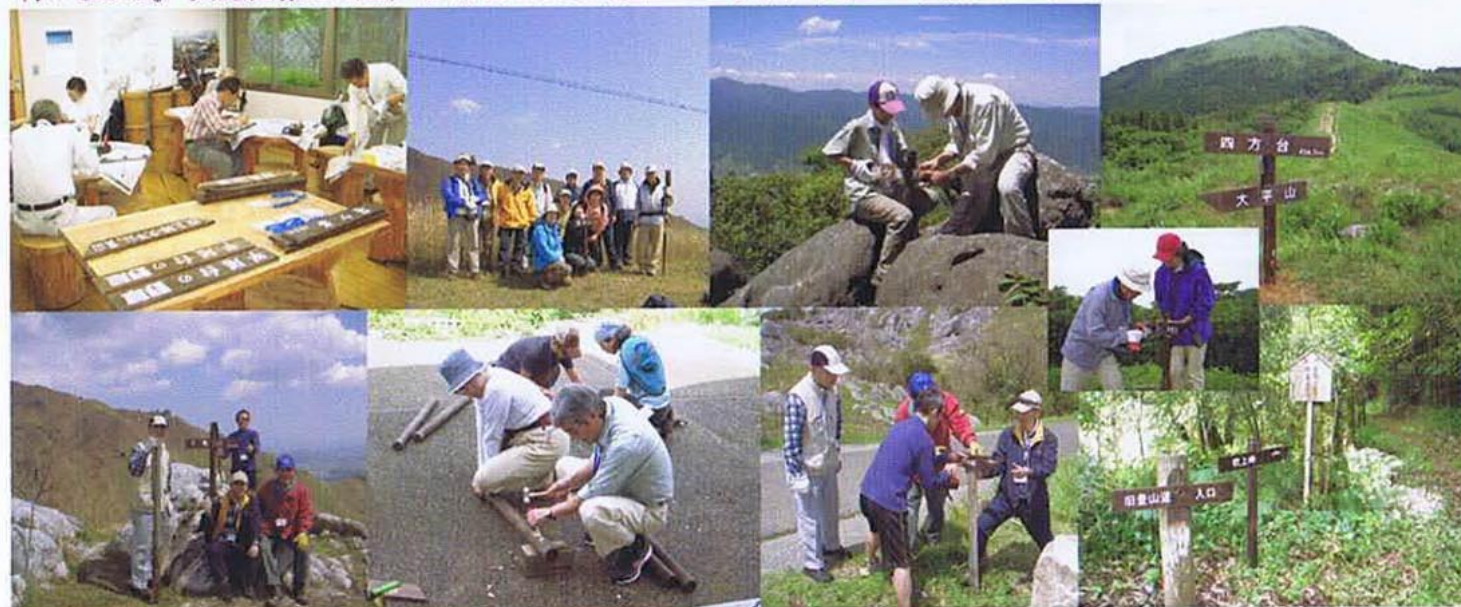


案内板整備ボランティア

僕も道に迷わないで、安心して平尾台で遊べるよ！ボランティアの皆さんありがとう！



4月から11月まで、ボランティアの方々のご協力を得て、平尾台散策道の木製案内板の更新整備を行いました。実施回数13回、参加者23人(延べ133人)、設置60箇所(78枚)。



☆ イベント報告 ☆

「落ち葉アート」11月23日(火・祝)

落ち葉や木の実で可愛い自然アートを制作しました。皆さんの豊かな感性で、ユニークで暖かな作品が出来上がりました。大人も子供も夢中で制作している姿が微笑ましかったです。午後からは素材の元がいっぱいある森を散策して自然と親しみました。完成した作品の一部は来年の1月30日まで、センター1F展示室に飾っています。(参加人数：一般16人、ボランティア3人、スタッフ1人)



「コウモリ観察会 in 牡鹿洞」12月5日(日)

観光鍾乳洞の牡鹿洞で冬眠中の洞穴性コウモリを観察しました。入口部分の縦穴を階段で約25m下り、横穴を奥に進むとキクガシラコウモリが約50頭、天井や壁にぶら下がって冬眠していました。参加者のほとんどの方が冬眠しているコウモリを見るのが初めてで、興味津々のようでした。その他の生き物はアカガエルなどがいました。参加人数：一般12人、ボランティア12人、スタッフ1人)



☆ イベント情報 ☆

● **アートフラワー講座**
平尾台の野草を針金や布などで作ります
開催日：平成23年1月21日(金)
時間：10:00～16:00
定員：10名(材料費：2,000円)
〆切：1月14日(金)必着

● **冬のカルスト台地**
冬のカルスト台地の不思議を観察する。
開催日：平成23年1月16日(日)
時間：9:30～12:00
定員：20名
参加費：無料
〆切：1月9日(日)必着

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

● **カルスト文化祭**
平尾台をテーマにした絵画、写真、俳句、工作物など、一般募集した作品を展示します
展示数：応募された点数
開催日：12月1日(水)～1月30日(日)
場所：センター1F展示室

面白ピナクル



♪ねえームーミンこつち向いて
恥ずかしがらなーいで♪

今月の一枚

ミニ門松



石のひっこじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>

〈開館時間〉9:00～17:00

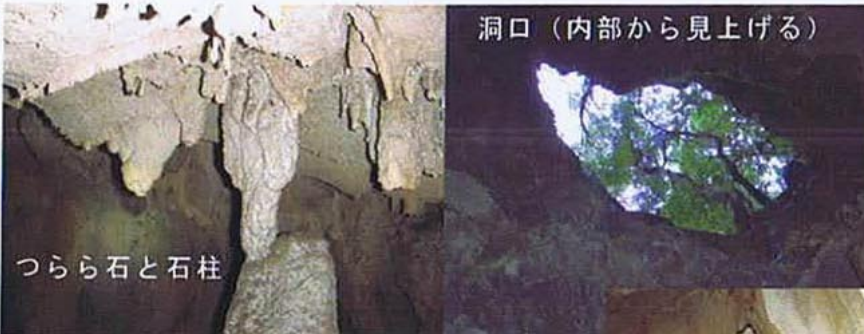
〈休館日〉月曜日(祝日の場合は翌日)

平尾台の鍾乳洞

多田穴

洞口標高: 515 m
総延長: 105 m 高度差: 28 m
分類: 斜洞

ただあな
大平山から塔ヶ峯への尾根道から西側に少し降りた、植林との境界部に直径4mほどの洞口があります。洞口からは、40度の傾斜をザイルを使って最初の小ホールまで降り、さらに落盤の隙間を通過して下層の小ホールまで降りました。そこには、数百頭(千頭はいたかも?)のコウモリが集団越冬(殆どキクガシラコウモリ)していました。つらら石などの美しい二次生成物もたくさんありましたが、残念なことに盗掘が目立ちました。長い時間をかけて作られたつらら石が荒された光景には、悲しくなりました。



洞口(内部から見上げる)

つらら石と石柱



盗掘されたつらら石とコウモリ

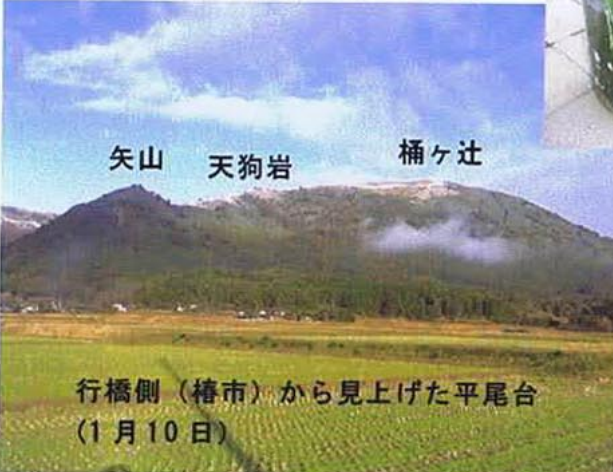


冬眠中のコウモリ

石筍

平尾台の冬景色

今シーズンは平尾台でも例年に無い寒さが続いています。昨年末から、平尾台登山道はチェーン規制が断続的に出ています。1月4日の積雪はセンターで8cm、茶ヶ床15cm、中峠25cm～30cm。また1月16日には、最低気温がセンター温度計で-5.5℃まで下がり、バケツの水が全て凍りました。



矢山 天狗岩 桶ヶ辻

行橋側(椿市)から見上げた平尾台 (1月10日)



見晴台から見上げた周防台方面 (1月4日)

周防台 貝殻山

中峠から偽水晶山方面 (1月4日) 偽水晶山

中峠を巡回中のパトロール車 (1月4日) 積雪30cm

バケツの中身



☆ イベント報告 ☆

「ミニ門松作り」12月19日(日)

定員の2倍の参加者があり、楽しみながら、オリジナルのミニ門松を製作しました。中には一人で3組も作り、友達や親戚にあげる方もいました。「初めて門松を作れてよかった。」とか「子供と一緒に体験できて嬉しかった。」などの感想を頂きました。

(参加人数: 一般42人、ボランティア5人、スタッフ2人)



「アートフラワー講座」1月21日(金)

「平尾台 野の花の会」山岸三代子さんが講師となって、毎月第三金曜日(12月のみ第二金曜日)に実施しています。平尾台の草花を題材にして、布や針金で本物そっくりに手作りします。研修室で行われる講座は、和やかで笑顔が絶えません。山岸先生の作品は北九州市長室や小倉南区長室などに飾られています。また、NHK北九州放送局のニュース番組の飾付けとして、作品を見ることができます。参加人数: 一般9人、講師1人)



☆ イベント情報 ☆

●ドキドキ鍾乳洞探検～白日洞～

観光化されていない鍾乳洞初心者ケイビング
開催日: 平成23年2月6日(日)
時間: 9:30～15:00
定員: 20名(小学4年生以上) 有料
(小中学生500円、高校生以上1,500円)

※切: 1月30日(日) 必着

●初心者向け山歩き教室～若山～

自然公園指導員による登山の心得や自然に対するマナーアップ教室(貫山)。

開催日: 平成23年2月13日(日)

時間: 9:30～15:00

定員: 30名

参加費: 無料

※切: 2月6日(日) 必着

●アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作り直す

開催日: 平成23年2月18日(金)

時間: 10:00～16:00

定員: 10名(材料費: 2,000円)

※切: 2月11日(金) 必着

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

●平尾台野草写真展

平尾台自然の郷 野草研究会の方々が2010年に観察した美しい野草の写真

展示数: 約50点

開催日: 2月1日(火)～3月31日(木)

場所: センター1F展示室

●野焼き”特別”見学会

平尾台の春の風物詩「野焼き」を茶ヶ床園地で見学(一般見学は平尾台自然の郷内から)

開催日: 2月27日(日)

時間: 9:00～12:00

応募方法等の詳細は、平尾台自然の郷へお問合せ下さい。 Tel. 093-452-2715

今月の一枚 洞窟真珠(青龍窟)

鍾乳洞内で小石などが核となり、それに石灰分が付着、成長してできます。様々な形状のものが、いずれも細かな層がいくつも重なってできています。

石のひっこじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日(祝日の場合は翌日)

平尾台の鍾乳洞 風神洞

ふうじんどう

洞口標高: 459 m
総延長: 205 m 高度差: 12 m
分類: 流出、曲流型横穴

大穴の中にある6つの神がつく洞窟の一つ。洞口数が14ヶ所もあり平尾台で一番多い。メアンダートレンチ(蛇行した細くて長い溝状の通路)や天井部のペンダントがよく発達しています。冬眠中のキクガシラコウモリやカマドウマの群がいました。



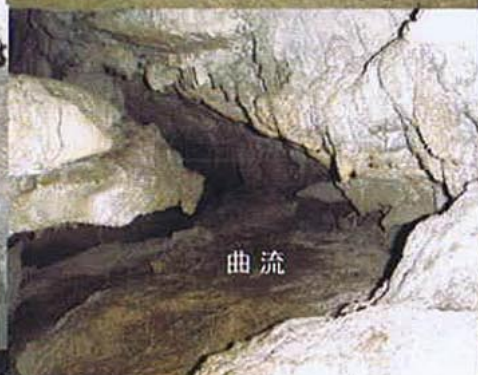
カマドウマの群れ



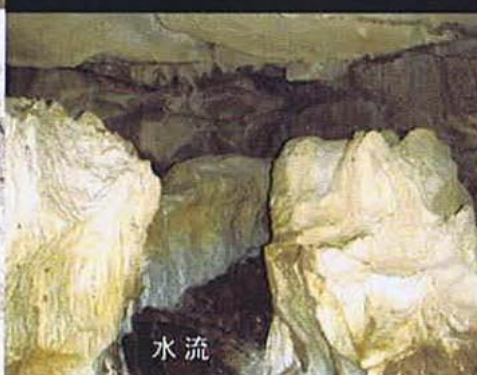
ペンダント



キクガシラコウモリ



曲流



水流

平尾台の生きもの

冬鳥 ウソ(鶯) マヒワ(真鶺)

参照:「野鳥観察ハンディ図鑑(日本野鳥の会)他

平尾台にやってくる冬鳥です。ウソやマヒワ以外にもアオジ、ミヤマホオジロ、シメ、ツグミ、シロハラ、ジョウビタキなどの野鳥がやってきます。



マヒワの群れ

マヒワ♀

マヒワ♂

1月31日

1月25日



ウソ♂

ウソ♀

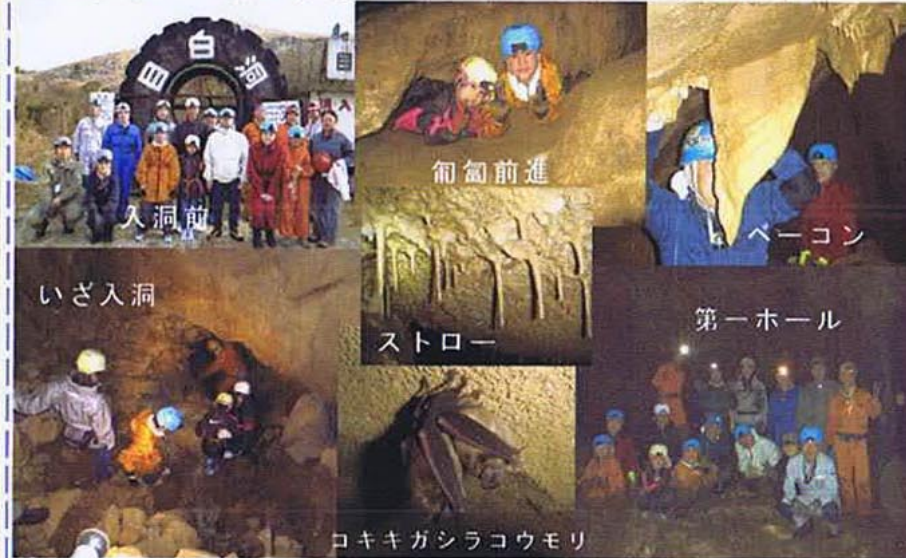
全長: 12 cm マヒワ(アトリ科)
林に群で飛来。高い山や北海道で少数が繁殖します。オスの頭頂は黒、背は緑灰色に黒の縦斑、翼に黄色の線、顔と腹は黄。メスは頭が緑灰色、下面黄白色、縦斑が多い。ジュイン ジュクジュクと鳴く。杉やヤシヤブシ等の実や種を食べる。
牡鹿洞周辺の林で、30羽以上のマヒワの群に出会いました。枝から枝に飛び移りながら餌を探していました。

☆ イベント報告 ☆

「ドキドキ鍾乳洞体験～目白洞」2月6日(日)

参加者は少なかつたけれどゆったりとした洞窟探検が出来ました。目白洞に入るのが初めての方が殆どで、コースは北洞の第二ホール(ベーコンのある所)までの探検と観光洞を見学しました。ストローやカーテンなどの鍾乳石やキクガシラコウモリやヨキクガシラコウモリの冬眠を観察しました。特にベーコンは後ろから光を当てるとメノウのような縞模様がはっきり出て美しく、皆さん喜んでいました。第一ホールでは、暗闇体験や匍匐前進などを体験し好評でした。

(参加人数: 一般10人、ボランティア5人、スタッフ1人)



いざ入洞

ストロー

第一ホール

コキキガシラコウモリ

ボランティア研修

「歴史探訪～呼野・金辺峠・探銅所」2月20日(日)

平尾台の西側山麓を通っている秋月街道(小倉から久留米までの旧道)沿いの史跡や自然を見て歩きました。呼野では里程標やお糸にまつわる史跡、大山祇神社。金辺峠では島村志津磨の碑や峠の茶屋の水場?、金辺隧道、小倉-田川断層。探銅所では古宮八幡神社、清祀殿、神間歩などを見学。平尾台や香春岳周辺ではマグマと石灰岩が接触して出来るスカルン鉱床が多く、銅や金などの鉱山が多くあったそうです。参加人数: ボランティア12人、スタッフ1人)



金辺峠

島村志津磨の碑

探銅所

清祀殿

呼野

大山祇神社のイチョウ

探銅所

古宮八幡神社

探銅所

神間歩

☆ イベント情報 ☆

● 鍾乳洞コウモリ観察会～In 牡鹿洞

鍾乳洞に棲むコウモリなどの生物を観察
開催日: 平成23年3月13日(日)
時間: 9:30～12:00
定員: 20名 有料
(小中学生200円、高校生以上300円)

〆切: 3月6日(日) 必着

● アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります
開催日: 平成23年3月18日(金)
時間: 10:00～16:00
定員: 10名(材料費: 2,000円)
〆切: 3月11日(金) 必着

● 第11回平尾台クリーン大作戦

みんなの平尾台をみんなの手できれいにしよう。(平尾台グラウンドワーク)
開催日: 平成23年3月26日(土)
(予備日) 3月27日(日)
時間: 9:30～13:00
定員: 無し

参加者にはぜんざいのおもてなしあり
〆切: 3月19日(土) 当日参加もOK!

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

● 平尾台野草写真展

平尾台自然の郷 野草研究会の方々が2010年に観察した美しい野草の写真
展示数: 約70点
開催日: 2月1日(火)～3月31日(木)
場所: センター1F展示室

● 野焼き写真展

春の風物詩「野焼き」の写真展
展示数: 約20点
開催日: 2月1日(火)～3月31日(木)
場所: センター1Fエレベータホール

今月の一枚

タマキクラゲ



2月18日

クヌギの枯枝に泥山のキノコがついていました。セラチン毒のきこいで、光が当たると透明感があり、タマキクラゲ科のキノコで日本と韓国に産しているそうです。

石のひっこじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日(祝日の場合は翌日)

平尾台の野焼き 2月27日

今年、なんとか予定通りの日程で野焼きを実施することが出来ました。平尾台野焼き委員会の資料によると、今回は特別保護地区を中心に約380ヘクタールを焼きました。火入れ動員数は302人(地元・行政・消防・警察・自衛隊など)、観覧者は3026人(自然の郷2752人、茶ヶ床254人、ガイド22人)でした。今年、野焼きが終わる頃、雨になりました。



火入れ(茶ヶ床付近)

茶ヶ床付近

特別見学会(茶ヶ床)
焼け終わった草原は炭や灰で黒く変化してゆく

野焼き後の平尾台

3月5日の平尾台の風景です。野焼きにより、草に隠れていた石灰岩が累々と露出しています。毎年、その威容に驚くのは何故でしょうか?これから草木が芽生え新緑に変わっていく姿が楽しみです。



☆ イベント報告 ☆

「鍾乳洞コウモリ観察会 in 牡鹿洞」3月13日(日)

参加者が多いため4班に分かれ、ボランティアガイドの皆さんの案内で冬眠中のコウモリを観察しました。堅穴から横穴へ連結される通路の天井部分に約100頭のキクガシラコウモリが冬眠していました。初めてコウモリを見る方が殆どで、興味深く観察していました。ボランティアの方々にはコウモリだけではなく、洞窟の侵食形態や二次性生物などの説明もしていただきました。また、洞内でヤスデやカエル、カマドウマを見つけた子供もいました。コウモリ観察会は野生動物を真近で見ると、またと無い機会であり、とても好評でした。(参加人数:一般40人、ボランティア11人、スタッフ2人)



ボランティア研修

「歴史探訪～京築地区の史跡」3月6日(日)

センターボランティアでもある「ゆくはし屋根のない博物館」市民学芸員の白川正樹さんに講師になっていただき、平尾台近隣の京築地区の史跡を巡りました。訪問した場所は、行橋市の福丸古墳、椿市廃寺、願光寺裏山古墳(ムクモト古墳)、御所ヶ谷(中門(山城跡)、景行神社、ヒモヅル)、みやこ町の綾塚古墳と橘塚古墳及び行橋歴史資料館にて企画展「京築地区のあけぼの」を見学しました。参加人数:講師1人、ボランティア13人、スタッフ1人



☆ イベント情報 ☆

● 散策コース整備ボランティア

木製案内板の補修、草刈、ゴミ拾いなどの散策道や登山道の点検・整備を行います。開催日:4月9日(土) 4月から来年の3月の毎月第一土曜日に実施します。時間:9:00～15:00 定員:20名

● 早春の野草観察会

平尾台の早春を彩る野草を観察します。開催日:平成23年4月10日(日) 時間:9:30～15:00 定員:30名

● アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります。開催日:平成23年4月15日(金) 時間:10:00～16:00 定員:10名(材料費:2,000円)

● カルスト台地ハイキング

平尾台のカルスト地形と春の野草を楽しむ新緑ハイキング。開催日:平成23年4月29日(祝・金) 時間:9:30～15:00 定員:30名

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

● 平尾台野草写真展

平尾台自然の郷 野草研究会の方々が2010年に観察した美しい野草の写真 展示数:約70点 開催日:2月1日(火)～4月30日(土) 場所:センター1F展示室

今月の一枚

ヤマヤナギの新芽



3月5日

石のひっこじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日(祝日の場合は翌日)

第11回平尾台クリーン大作戦

平尾台グラウンドワーク
3月27日(日)

開催日の朝、予想もしていなかった雪が5cmも積っており、翌27日に順延になりました。その為、大半がキャンセルとなり参加者が大幅に減少しました。一般4コース(吹上、千貫岩、茶ヶ床、千仏)とボランティアスタッフから構成される特別班(吹上展望台&県道沿い)に分かれて実施し、回収ゴミはタイヤやチャイルドシート、缶・ペットボトルなど軽トラック4台分もありました。参加人数:一般60人、ボランティア16人、スタッフ4人。



☆ イベント報告 ☆

「早春の野草観察会」4月10日(日)

開花が遅れていたオキナグサやホタルカズラなども、観察会当日には、なんとか咲いてくれました。しかも好天に恵まれて気持ちのよい観察会になりました。コース:センター～不動坂～不動山～堂金山～(旧道経由)千仏駐車場～茶ヶ床～深窪～東の辻～見晴台～セ



散策コース整備ボランティア 4月9日(土)

散策道のゴミ拾いや草刈、案内板の補修などを行う今年度からはじめたボランティア活動の第1回目。今回は、3コースに分かれて主にゴミ拾いを行いました。①中峠～岩山～四方台～貫山～小穴～大平山～下穴～山神社②中峠～周防台～桶ヶ辻～天狗岩～茶ヶ床③不動坂～不動山～堂金山～貝殻山～茶ヶ床～山神社。9袋分のゴミを回収。参加人数:ボランティア12人、スタッフ1人



ボランティア研修

「ドリーネ巡り」4月17日(日)

講師に元「いのちのたび博物館」学芸員の藤井厚志博士(地質学)を招き、平尾台のカルスト地形について学びました。平尾台の生い立ちや北九州の地質についての講義を受け、フィールドを散策しながら学習しました。助佐穴、エノハの淵、芳ヶ谷などのドリーネに入り、内部の様子を観察。壮大な地球の歴史の中で形作られた平尾台についての認識を新たにしました。参加人数:講師1人、ボランティア18人、スタッフ1人



☆ イベント情報 ☆

●春の野草観察会

シランなどの春の野草を観察します
開催日:平成23年5月11日(水)
時間:10:00～15:00
定員:30名
〆切:5月4日(水)必着

●初めての山登り

登山の心得や自然に対するマナーアップ
開催日:平成23年5月15日(日)
時間:9:30～15:00
定員:30名
〆切:5月8日(日)必着

●アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります
開催日:平成23年5月20日(金)
時間:10:00～15:00
定員:10名(材料費:2,000円)
〆切:5月13日(金)必着

●初夏の虫観察会

平尾台の初夏の花に集まる虫を中心に観察
開催日:平成23年5月29日(日)
時間:9:30～15:00
定員:30名
〆切:5月22日(日)必着

●散策コース整備ボランティア

木製案内板の補修、草刈、ゴミ拾いなどの散策道や登山道の点検・整備を行います。
開催日:5月7日(土) 4月から来年の3月までの毎月第一土曜日に実施します。
時間:9:00～15:00
定員:なし

随時受付 *詳細はお問合せ下さい

●外来植物駆除ボランティア

平尾台の生物多様性維持のための活動
開催日:5月21日(土) 5月から10月までの毎月第三土曜日に実施します。
時間:9:00～15:00
定員:なし

随時受付 *詳細はお問合せ下さい

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

●野草写真展

平尾台などで撮影した野草の写真展
出展者:中島洋一氏
展示数:約30点
開催日:5月1日(日)～6月29日(水)
場所:センター1Fエレベータホール

平尾台の生きもの 昆虫とクモ

イボタガは毎年春先に観察センターの外灯にやってきます。朝に見つける事が多いです。英語名ではフクロウガと言うそうです。野鳥の天敵のフクロウに擬態しているのでしょうか?

イボタガ(イボタガ科)



(開長)80-115mm
(時期)3月～4月
(食樹)イボタノキ、モクセイ、ヤナギなど
(分布)北海道、本州、四国、九州、屋久島

ピロードツリアブ(ツリアブ科)



(体長)7-11mm
(時期)3月～5月
(分布)北海道、本州、四国、九州
ピロードツリアブは、春にだけ出現します。長い口吻を使って各種の花の蜜を吸っている姿や、花を探しながらホバリングしている姿がとても可愛いです。幼虫は、ヒメハナバチ科の幼虫に寄生。上の写真の個体はスズシロソウの蜜を吸っていました。

ただあな 多田穴の入口に、サソリに似た形のクモ?がいました。蜘蛛は苦手なのですが形が珍しいので調べてみると、キジロオヒキグモというクモの仲間でした。オスはメスに比べて非常に小さく、メスは写真のように腹部が尾状に長く伸びています。
(体長)♂1.8mm ♀25-28mm
(分布)本州～四国～九州～沖縄
キジロオヒキグモ(コガネグモ科)



石のひっこじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日(祝日の場合は翌日)

平尾台の生きもの

昆虫

今回は、観察センター敷地内やフィールドガイド時に見かけた甲虫類と蛾類を紹介します。

参照：山溪フィールドブックス6 甲虫 他

ハラアカコブカミキリ



ハラアカコブカミキリ(フトカミキリ亜科)
(別名：ベニフカミキリ)

5月14日

ツマグロハナカミキリ



ツマグロハナカミキリ
(ハナカミキリ亜科)

5月14日

オジロアシナガゾウムシ



オジロアシナガゾウムシ
(ゾウムシ科)

5月15日

(体長) 16-27mm (時期) 6月～9月
(食樹) クヌギ・コナラ等の枯木
(分布) 本州(関西・中国)、九州
生息地の対馬から分布拡大中。成虫越冬。

(体長) 12-18mm (時期) 4月～8月
(食樹) 各種の広葉樹・針葉樹
(分布) 北海道、本州、四国、九州
斑紋の変化が多いそうです。

(体長) 12-18mm (時期) 4月～8月
(食樹) クズ
(分布) 本州、四国、九州
触るとすぐに地上に落下する。

オオミズアオ(ヤマムユガ科)



(開長) 80-120mm
(時期) 4月～8月 年二回発生
(食樹) モミジ、ウメ、サクラ、リンゴ
(分布) 北海道、本州、四国、九州

左の写真のオオミズアオは観察センターの外灯に集まってきたものです。白っぽい淡い水色の色彩が優しく美しい。時々、オオバヤシヤブシの葉にとまっている個体も見ます。

4月28日

ヒメゴマダラオトシブミ



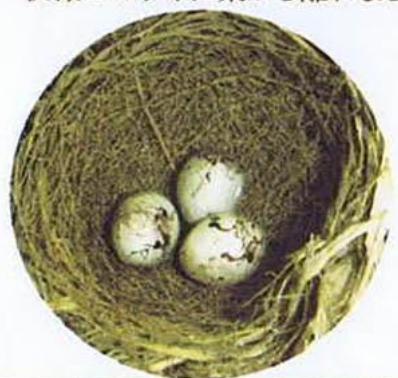
ヒメゴマダラオトシブミ
(オトシブミ科)

5月15日

(体長) 6-7mm (時期) 4月～8月
(食樹) エノキ・ケヤキ等の葉
(分布) 北海道、本州、九州
葉をまるめて揺籃を作ります。

ホオジロの卵 5月20日

フィールドパトロール時に偶然見つけた鳥の巣に卵が3個入っていました。写真を一枚撮ってすぐに巣から離れました。



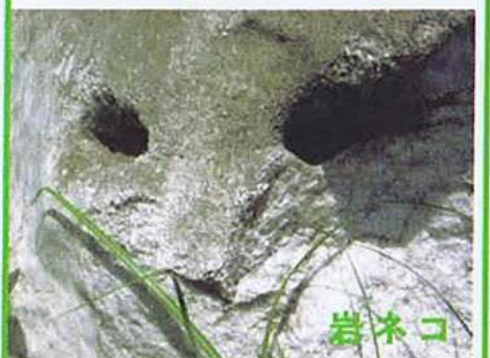
イタドリハムシ(ハムシ科)



5月9日

(体長) 7.5-9.5mm
(時期) 4月～9月 成虫越冬
(食樹) イタドリ・スイバ
(分布) 北海道、本州、四国、九州
斑紋には赤や黄色の変化がある。

今月の一枚



東谷市民センターの「谷っ子クラブ」の観察会で子供たちが見つけました。

☆ イベント報告 ☆

「カルスト台地ハイキング」4月29日(金・祝)

カルスト地形や野草を観察しながらゆっくりと散策しました。コース：センター～山神社～深窪～鞍外～大平山(昼食)～小穴～キス岩～茶ヶ床(トイレ休憩)～深窪～山神社～センター。野草はホタルカズラやオキナグサなどを観察、野鳥ではセッカやヒバリ、キジなどのさえずりを聞きました。(参加人数：一般18人、ボランティア14人、スタッフ2人)



「初めての山登り」5月15日(日)

講師に自然公園指導員の佐々木公裕さんを迎え、登山靴や雨具などの装備やザックパッキングの仕方、歩き方、山登りの心得、自然に対するマナーなどを学びました。コース：センター～山神社～深窪～茶ヶ床(トイレ)～エノハの淵～堂金山～不動山～不動坂～風神山～大かんの台～風神山～不動坂～センター。シランやカノソウなどの野草も観察し、カッコウ・ホトギスのさえずりも聞きました。参加者：一般16人、ボランティア10人、スタッフ1人



散策コース整備ボランティア 第二回 5月7日(土)

今回は2コースで案内板の点検・ゴミ回収を実施。①センター～ラクダ山～三笠台～風神山～不動坂～センター②茶ヶ床～下穴方面(農道沿い)。②では、ドリーネ内へ投棄された古タイヤの回収に苦勞しました。軽トラック3台分を回収(タイヤ22本、鉄骨、鍋、缶ビンなど)。(参加人数：ボランティア12人、スタッフ1人)



☆ イベント情報 ☆

●野鳥(カッコウ)観察会

カッコウなどの初夏の野鳥を観察します
開催日：平成23年6月5日(日)
時間：8:30～12:00
定員：20名
〆切：5月29日(日) 必着

●アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります
開催日：平成23年6月17日(金)
時間：10:00～15:00
定員：10名(材料費：2,000円)
〆切：6月10日(金) 必着

●広谷温泉野鳥観察会

梅雨期に見られるノハナショウブなどを観察
開催日：平成23年6月19日(日)
時間：9:30～15:00
定員：30名
〆切：6月12日(日) 必着

●散策コース整備ボランティア

木製案内板の補修、草刈、ゴミ拾いなどの散策道や登山道の点検・整備を行います。
開催日：6月4日(土) 4月から来年の3月までの毎月第一土曜日に実施します。
時間：9:00～15:00
定員：なし

●外来植物駆除ボランティア

平尾台の生物多様性維持のための活動
開催日：6月18日(土) 5月から10月までの毎月第三土曜日に実施します。
時間：9:00～15:00
定員：なし

●野鳥写真展

平尾台などで撮影した野草の写真展
出展者：中島洋一氏
展示数：30点
開催日：5月1日(日)～6月29日(水)
場所：センター1Fエレベータホール

●きのこ写真展

福岡県内外で撮影した野生きのこ写真展
出展者：福岡きのこ友の会
展示数：約90点
開催日：6月1日(水)～9月29日(木)
場所：センター1F展示室

石のひっこじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日(祝日の場合は翌日)

平尾台の生きもの

昆虫

今回も、観察センター敷地内やフィールドで見

かけた昆虫(甲虫、ハチ、蝶)を紹介します。

参照:原色日本昆虫図鑑(保育社)他

テントウムシの仲間は、世界に約4,500種、日本には約160種が分布している。一部(ニジュウヤホシテントウなど)は食葉性であるが、多くはアブラムシ、カイガラムシ、ハダニなどを食べる。

ナナホシテントウ
(テントウムシ科)



成虫



さなぎ



ナミテントウの幼虫

ナナホシテントウの成虫は、春と秋にみられ、草地や畑などの平地に多いです。(体長) 5.5-8.6mm (食べ物) アブラムシ類、ハダニ類

ナミテントウ
(テントウムシ科)



二紋型



四紋型



斑紋型

(体長) 5.5-8.6mm ナミテントウは、上翅の模様により、二紋型、四紋型、斑紋型、紅型などの斑紋の型があり、別種のように見えます。(食べ物) アブラムシ類



キイロテントウ
(テントウムシ科)

(体長) 3.5-5.1mm (食べ物) うどん粉病菌



ヒメカメノコテントウ
(テントウムシ科)

(体長) 3.0-4.6mm (食べ物) アブラムシ類



フタモンクロテントウ
(テントウムシ科)

(体長) 2.1-2.8mm (食べ物) ?

ヒメアカホシテントウ
(テントウムシ科)



(体長) 3.3-4.9mm (食べ物) カイガラムシ類

ルイスヒラタチビタマムシ
(タマムシ科)



(体長) 2.5-3.2mm (食樹) ノイバラ

今月の一枚



バラハタマバチ
6月5日 ノイバラ

バラハタマバチが寄生した虫こぶ。6月～7月に葉から落ち、幼虫はちゅうえい内で越冬し、春に羽化する。



6月2日

ハゲロハバチ (ハバチ科)



(体長) 10mm (食草) スイバ、ギンギシ、イタドリなど

2010年11月20日



ルリシジミ (シジミチョウ科)

6月14日

クララの蕾に産卵中のメス

(前翅長) 12-19mm 成虫 3月～11月 (食草) マメ科、タデ科、バラ科などの蕾、花、実

☆ イベント報告 ☆

「野鳥(カッコウ)観察会」6月5日(日)

コース:センター～見晴台～茶ヶ床～下穴～山神社～センター。キジ、ホトギス、ホオジロ、ホオアカ、ヒバリ、セツカなどの野鳥を22種観察しました。しかし、目玉のカッコウはさえずりの声だけでした。変わったところでは、自然の郷の調整池に棲むカエルが目当てなのかアオサギやダイサギが各1羽、上空を飛んでいました。参加者はフィールドスコープで見る鳥の姿に感動した様子でした。(参加人数:一般25人、ボランティア5人、スタッフ1人)



外来植物駆除ボランティア

第一回
5月21日(土)

最近、平尾台でも外来種のオオブタクサの繁茂が目立ってきたため、生物多様性の観点からオオキンケイギクやセイタカアワダチソウなども対象に含め、外来植物の駆除活動を今年度から新たにはじめました。今回は手始めに、①吹上駐車場(オオキンケイギクなど16袋とゴミ2袋)②吹上付近のドリーネ内(オオブタクサを中心に400㎡)③吹上付近の道路沿い(オオブタクサを中心に240㎡)の駆除を実施しました。芽立ちで背丈が低かった為、今回は手で抜いて駆除しました。参加者:一般4名、ボランティア14名、スタッフ1名)



散策コース整備ボランティア

第三回
6月4日(土)

今回は広谷湿原周辺で実施。散策道の草刈りや立入り規制ロープの張替えを行いました。(参加人数:ボランティア11人、スタッフ1人)



トキソウが見ごろでした。

☆ イベント情報 ☆

●きのこ観察会(講師:福岡きのこ友の会)

梅雨期のきのこを観察します
開催日:平成23年7月10日(日)
時間:9:30～14:00
定員:30名(小学生以上)
〆切:7月3日(日)必着

●アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります
開催日:平成23年7月15日(金)
時間:10:00～15:00
定員:10名(材料費:2,000円)
〆切:7月8日(金)必着

●初級登山教室(講師:佐々木公宏氏)

登山の心得や自然に対するマナーアップ
開催日:平成23年7月18日(月・祝)
時間:9:30～15:00
定員:30名
〆切:7月11日(月)必着

●夏の虫観察会

平尾台で見られる夏の虫を観察します
開催日:平成23年7月24日(日)
時間:9:30～12:00
定員:30名
〆切:7月17日(日)必着

●散策コース整備ボランティア☆

木製案内板の補修、草刈、ゴミ拾いなどの散策道や登山道の点検・整備を行います。
開催日:7月2日(土) 4月から来年の3月までの毎月第一土曜日に実施します。
時間:9:00～15:00

●外来植物駆除ボランティア☆

平尾台の生物多様性維持のための活動
開催日:7月16日(土) 5月から10月までの毎月第三土曜日に実施します。
時間:9:00～15:00
☆ボランティア活動は随時受付しています。
※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

●生き物写真展
水辺の生き物・トンボ・野鳥などの写真展
出展者:武田晋一、西本晋也、野村芳宏各氏
展示数:30点
開催日:7月1日(金)～8月30日(火)
場所:センター1Fエレベータホール

●きのこ写真展
福岡県内外で撮影した野生きのこ写真展
出展者:福岡きのこ友の会
展示数:約90点
開催日:6月1日(水)～9月29日(木)
場所:センター1F展示室

石のひっこじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日(祝日の場合は翌日)

平尾台の生きもの

昆虫

今回も、観察センター敷地内やフィールドで見かけた昆虫(甲虫、カメムシ)を紹介します。
参照:原色日本昆虫図鑑(保育社)他



シロジュウシホシテントウ (テントウムシ科)
7月3日



ハラグロオオテントウ (テントウムシ科)
7月10日



コブスジツノゴミムシダマシ (ゴミムシダマシ科) メス
7月5日



7月11日



7月3日
シロヘリツチカメムシ (ツチカメムシ科)



上の写真はカナビキソウの汁を吸っているところ。

平尾台の野草だより

梅雨の終わり頃に咲いていた花を紹介します。ラン科植物は特に盗掘の対象になりやすく、ササバランなどはあまり見られなくなりました。



7月3日
ヤマホトトギス(ユリ科)



7月6日



7月8日



7月11日

外来植物駆除活動中、オオバタクサの草取りをしている時に見つけた。北アメリカからメキシコが原産の外来種。1996年に関東で見つかり全国に分布を拡大中。

日本で一番大きなテントウムシの仲間です。

(体長) 7.0-9.0mm (食べ物) サルノコシカケなど

(体長) 3.5-4.7mm (食草) バタクサ、オオバタクサ、オナモミ、ククイモなど

クズベニカミキリ(カミキリムシ科)

クズベニカミキリ(カミキリムシ科) 7月6日

(体長) 14.5-19.0mm (寄主植物) クスノキ、タブノキ、ヤブニッケイ、カゴノキ



外来種
6月27日



福岡県 絶滅危惧Ⅱ

☆ イベント報告 ☆

「きのご観察会」7月10日(日)

「福岡きのご友の会」を講師に迎え、山神社一帯の森できのごを観察しました。観察出来たきのごは32種で、目玉であるキヌガサタケやエリマキツリグリの菌輪にも出会えました。

きのご観察会を通して自然の仕組みの一端を感じ取れました。(参加人数:一般11人、ボランティア3人、講師:「福岡きのご友の会」3人+オブザーバー3人、スタッフ2人)



きのご観察

「初級登山教室」7月18日(月・祝)

講師に環境省自然公園指導員の佐々木公裕氏による登山の心得や自然に対するマナーアップ講座。今回は、貫山を目指しましたが、台風6号の影響(風雨)で登頂を断念し、四方台の手前で引き返しました。午後からは、講義を行いました。参加者:一般16名、講師1名、ボランティア8名、スタッフ1名)



講義



ファミリーグループ



一般グループ

「青龍窟ケイビング」ガイド 7月12日(火)

北九州 子どもの村小学校の生徒と先生を対象に鍾乳洞探検のガイドを行いました。コース:東洞口~旧観光洞、九大記念ホールまで。(参加人数:生徒16人先生3人、ボランティア5人、スタッフ1人)



☆ イベント情報 ☆

●夏の野草観察会

ノヒメユリなどの夏の野草を観察します
開催日:平成23年8月10日(水)
時間:9:30~12:00
定員:30名(小学生以上)
〆切:8月3日(水)必着

●ペルセウス座流星群観望会

ペルセウス座流星群や惑星の天体観察
開催日:平成23年8月12日(金)
時間:19:00~22:30
定員:100名
〆切:8月5日(金)必着

●アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります
開催日:平成23年8月19日(金)
時間:10:00~15:00
定員:10名(材料費:2,000円)
〆切:8月12日(金)必着

●親子で楽しむ凧作り

竹や紙で作る凧作り教室
開催日:平成23年8月21日(日)
時間:9:30~12:00
定員:20名 材料費:凧1枚500円
〆切:8月14日(日)必着

●鍾乳洞探検(不審洞)

鍾乳洞の中を探検する初心者ケイビング
開催日:平成23年8月28日(日)
時間:9:30~15:00
定員:30名(小学4年以上)
参加費:高校生以上1,500円、小中500円
〆切:8月21日(日)必着

●散策コース整備ボランティア☆

木製案内板の補修、草刈、ゴミ拾いなどの散策道や登山道の点検・整備を行います。
開催日:8月6日(土) 4月から来年の3月までの毎月第一土曜日に実施します。
時間:9:00~15:00

●外来植物駆除ボランティア☆

平尾台の生物多様性維持のための活動
開催日:8月20日(土) 5月から10月までの毎月第三土曜日に実施します。
時間:9:00~15:00

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。

●生き物写真展

水辺の生き物・トンボ・野鳥などの写真展
出展者:武田晋一、西本晋也、野村芳宏各氏
展示数:30点
開催日:7月1日(金)~8月30日(火)
場所:センター1Fエレベータホール

石のひっこじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日(祝日の場合は翌日)

平尾台の野草だより

8月中頃から下旬にかけて平尾台の草原や森の周辺で見かけた野草たちです。

8月26日 キセワタ (シン科)

8月26日 雌花

8月18日 雄花

8月26日 カエデドコロ (ヤマノイモ科)

8月26日 マツバニンジン (アマ科) ミズタマソウ (アカバナ科)

8月26日 花

8月26日 ミツバグサ (セリ科)

8月26日 葉

8月26日 環境省絶滅危惧Ⅱ 福岡県絶滅危惧Ⅱ

8月26日 オミナエシ (オミナエシ科)

8月26日 福岡県絶滅危惧ⅠA

8月8日

8月26日

8月18日 ヒヨドリジョウゴ (ナス科)

道路通行止めのお知らせ

理由：道路崩壊箇所の復旧工事
 区間：広谷～NTT電波塔 (NTT専用道路)
 期間：8月22日(月)～9月末
 迂回路：①中峠～広谷～広谷台～NTT (徒歩) ②中峠～四方台～手嶋基地～NTT

今月の一枚

平尾台自然の郷に持ち込まれた羽を痛めたオオルリのオス。数日後に死亡。(巣はハクセキレイのもの)

8月1日

オオルリ (ヒタキ科)

「親子で楽しむ凧作り」8月21日(日)

センターの誇る物作り名人の菅原マイスターが講師を務めたセンター初となる凧作りイベント。ぐにやぐにや凧と六角凧の二種類を製作しました。凧の模様はポケモンなどのアニメキャラに人気がありました。天気が悪かったこともあり、今回は組み立てまでになりました。家族で熱心に楽しそうに製作していました。(参加人数：一般18人、スタッフ2人)



☆ イベント報告 ☆

「夏の虫観察会」7月24日(日)

センター付近から神社の森一帯に生息している虫の観察会。①花で吸蜜するミドリヒョウモン、イシガケチョウ、アオスジアゲハ等、②クスギの樹液に集まるカナブン、ヒラタクワガタ、オオスズメバチ、ルリタテハ、ゴマダラチョウ等、③葉の上に集まるラミーカミキリ、ナナフシ等、④木の幹や枝に集まるゴマダラカミキリ、キマワリ等、⑤地上を這うオオオサマシ等を観察しました。(参加人数：一般21人、ボランティア2人、スタッフ1人)



「夏の野草観察会」8月10日(水)

コース：センター～見晴台～水取の穴～不動山～不動坂～農道～センター。ノヒメユリ、キキョウ、ヒナノキンチャク、コオニユリ、スズサイコ、ゴマノハクサ、ガガイモ、アキカラマツ、シマサイコ、サイヨウシヤジン等の野草を満喫しました。また、ルリモンハナバチ等の虫も見つけ、カルスト地形についての話も盛り込みながら楽しい観察会となりました。参加者：一般11名、ボランティア4名、スタッフ1名)



「ペルセウス座流星群鑑賞会」8月12日(金)

今年も平尾台自然の郷の敷地を借りて実施。定員の3倍を超える応募がありました。ボランティア講師2名のお話を聞いた後で、芝生広場で観察会を行いました。月齢12.2と明るく、しかも雲が多い夜空と悪い条件が重なり、流星を見つけた方も1,2個程度で、大半の方は見つけられませんでした。その代わり天体望遠鏡で捉えた月をパソコン画面で映し出し、月表面のクレーターなどを観察しました。(参加人数：一般286人、ボランティア14人、スタッフ4人)



☆ イベント情報 ☆

●アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります
 開催日：平成23年9月16日(金)
 時間：10:00～15:00
 定員：10名(材料費：2,000円)

●初級登山教室 (講師：佐々木公裕氏)

登山の心得や自然に対するマナーアップ
 開催日：平成23年9月23日(金・祝)
 時間：9:30～15:00
 定員：30名

●鍾乳洞探検 (高瀬啓)

鍾乳洞の中を探検する初心者ケイビング
 開催日：平成23年9月25日(日)
 時間：9:30～15:00
 定員：30名(小学4年以上)
 参加費：高校生以上1,500円、小中500円

●草刈ボランティア

平尾台の主な散策道の草刈整備
 開催日：平日7回(日程は別途調整)
 時間：9:00～12:00

●散策コース整備ボランティア☆

木製案内板の補修、草刈、ゴミ拾いなどの散策道や登山道の点検・整備を行います。
 開催日：9月3日(土) 4月から来年の3月までの毎月第一土曜日に実施します。
 時間：9:00～15:00

●外来植物駆除ボランティア☆

平尾台の生物多様性維持のための活動
 開催日：9月17日(土) 5月から10月までの毎月第三土曜日に実施します。
 時間：9:00～15:00

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
 ※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。
 ※〆切は開催日の一週間前まで必着。

●きのこ写真展

福岡県内外で撮影した野生きのこ写真展
 出展者：福岡きのこ友の会
 展示数：約90点
 開催日：6月1日(水)～9月29日(木)
 場所：センター1F展示室

●洞窟写真展

南大東島のカルスト 写真展
 出展者：浦田健作博士(洞窟学会副会長)
 展示数：46点
 開催日：9月1日(木)～11月29日(火)
 場所：センター1Fエレベータホール

石のひっこじ だより

NO. 135 平成23年10月号

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日(祝日の場合は翌日)

平尾台の野草だより

9月上旬から中旬にかけて広谷湿原に咲いていた湿原性の野草や草地に咲くマメ科の野草たちです。

福岡県絶滅危惧Ⅱ 北九州国定公園指定植物

9月12日 サワギキョウ (キキョウ科)

9月12日 タヌキマメ (マメ科)

9月12日 ヒメシロネ (シソ科)

9月12日 イヌハギ (マメ科)

9月12日 ネコハギ (マメ科)

環境省絶滅危惧Ⅱ 福岡県絶滅危惧ⅠB 北九州国定公園指定植物

今月の一枚
ハタケチャダイゴケ
(チャダイゴケ科)

9月6日
雨が降ると中の黒い粒を飛ばし胞子をばら撒きます。

平尾台の生きもの

昆虫とコウモリ

9月12日 オナガササキリ (キリギリス科)

9月1日 メス

オス

福岡県準絶滅危惧種
ユビナガコウモリ (ヒナコウモリ科)

9月13日

青龍窟の入口付近の天井に張り付いていました。平尾台では余り見かけないコウモリです。

(前腕長) 45-51mm (頭洞長) 59-69mm
(体重) 10-17mm
(分布) 本州、四国、九州

(体長) 15-21mm
(時期) 8月～10月
(食草) イネ科植物
(分布) 本州、四国、九州、沖縄

上のメスは、ニラの薬を無心に食べていました。メスの産卵管がとても長いのです。

☆ イベント報告 ☆

「鍾乳洞探検 (不動洞)」8月28日 (日)

入口の水深が約1.5mあった為、安全確保用のロープと浮き輪で通過しました。洞内は右洞も左洞も行きました。洞窟探検が初めての方が約7割もあり、洞奥では暗闇体験を実施しました。水量が多く少し寒さを感じた方もいました。参加者：一般33名、ボランティア12名、スタッフ1名)



「初級登山教室」9月23日 (金・祝)

環境省自然公園指導員の佐々木公裕さんが講師となり、山登りの心得や自然に対するマナーを学ぶ初心者向け登山教室。今回は貫山にチャレンジしました。(上り) 茶ヶ床～中峠～四方台～貫山 (下り) 貫山～四方台～小穴～中峠～茶ヶ床。帰館後に靴紐の結び方などの講義を行いました。(参加者：一般23人、ボランティア5人、スタッフ1人)



「鍾乳洞探検 (青龍窟)」9月25日 (日)

3連休の最終日で茶ヶ床が満車の為、目白洞の駐車場(有料)にとめさせて頂きました。青龍窟まで広谷経由で歩きました。洞内コース：東洞口～旧観光洞～小川入口～滴下水～九大記念ホール～滴下水～小川入口～岡田さん家～東洞口。九大記念ホールで恒例の暗闇体験を実施しました。入口付近でユビナガコウモリとキクガシラコウモリを少数観察出来ました。参加者：一般12名、ボランティア6名、スタッフ1名)



「散策コース整備ボランティア」9月10日 (土)

平尾台散策道のごみ拾いや草刈、案内板の整備等を行うボランティア活動。今回は、茶ヶ床園地周辺の整備を行いました。①トイレ側法面や園地内及び周辺の草刈②園地(トイレ法面側)への乗り入れ防止ロープ設置③茶ヶ床～深窪までの散策道の草刈。(参加者：ボランティア8人、スタッフ1人)



☆ イベント情報 ☆

● 散策コース整備ボランティア ☆

木製案内板の補修、草刈、ゴミ拾いなどの散策道や登山道の点検・整備を行います。開催日：10月1日(土) 4月から来年の3月までの毎月第一土曜日に実施します。時間：9:00～15:00

● ススキ観賞ハイキング

ススキを観賞しながら、草原を散策。開催日：平成23年10月9日(日) 時間：9:30～15:00 定員：30名

● 外来植物駆除ボランティア ☆

平尾台の生物多様性維持のための活動。開催日：10月15日(土) 5月から10月までの毎月第三土曜日に実施します。時間：9:00～15:00

● アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります。開催日：平成23年10月21日(金) 時間：10:00～15:00 定員：10名(材料費：2,000円)

● 秋の野草観察会

リンドウなどの秋の野草を観察します。開催日：平成23年10月26日(水) 時間：9:30～15:00 定員：30名

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。
※切は開催日の一週間前まで必着。

● 洞窟写真展

南大東島のカルスト 写真展
出展者：浦田健作博士(洞窟学会副会長)
展示数：46点
開催日：9月1日(木)～11月29日(火)
場所：センター1Fエレベータホール

● アートフラワー 野の花作品展

「平尾台野の花の会」代表 山岸三代子氏と受講生の皆さんが制作した平尾台に咲く野草を題材にした作品展
開催日：10月1日(土)～11月29日(火)
場所：センター1F展示室

石のひっこじ だより

平尾台の野草だより

10月上旬から中旬にかけて見かけた野草・樹木の花や実たちです。今年ススキの開花状況が悪かったのですが、ムラサキセンブリはあちこちに沢山咲いていました。



平尾台の生きもの

昆虫(カメムシとハチ)



ホソヘリカメムシ (ヘリカメムシ科)
細縁亀虫
幼虫 10月17日
成虫 10月15日
幼虫はアリ、成虫の飛ぶ姿はハチにそっくりです(擬態)。幼虫と成虫ではまるで別種のような感じです。センター野草園のツクシハギについていました。

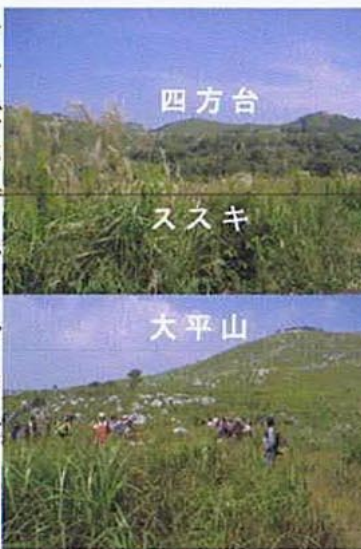


キンケハラナガツチバチ (ツチバチ科) 金毛腹長土蜂
10月7日
ヒョドリバナ
で吸蜜
(体長) ♂16-23mm ♀17-27mm
(時期) 5月～10月
(食べ物) コガネムシの幼虫に寄生
(分布) 本州・四国・九州・沖縄
・オスは触覚が長い

☆ イベント報告 ☆

「ススキ鑑賞ハイキング」10月9日(日)

コース:センター～山神社～深窪～鞍外し～四方台～小穴～中峠～茶ヶ床～深窪～山神社～センター。今年ススキが病気なのか、出穂前の状態で腐れているものが多い。見応えがありませんでした。野草ではススキに寄生するナンバンギセル、ヤクシソウ、ヤマジノギク、ヤナギアザミ、アキノキリンソウ、ハバヤマボクチ、ヤマハッカ、ヒキオコシ、シオガマギク、コシオガマ、センブリなどが咲いていました。参加者:一般33人、ボランティア10人、スタッフ1人



「アートフラワー講座」10月21日(金)

毎月第三金曜日に実施しています。山岸三代子先生が長年培った技法を教えている笑顔いっぱいの講座です。平尾台の草花を題材として布や針金で本物そっくりに作ります。今回は、ツユクサ・ノコンギク・コバギボウシなどを作りました。(講師1人、生徒13人)



ボランティア研修 10月16日(日)

「南大東島のカルスト～2億5千年前の平尾台」いのちのたび博物館「ジオ&バイオ研究会」の第5回楽習会が、浦田健作博士を迎えて平尾台で行われました。掲題のタイトルでの映像を交えた講演とフィールド散策を通して、平尾台の成り立ちや地形・地質について興味深いお話を聞きました。センターボランティアの皆さんも研修の一環として参加しました。参加者:G&B研究会10人、ボランティア12人、スタッフ1人



☆ イベント情報 ☆

● 散策コース整備ボランティア☆

木製案内板の補修、草刈、ゴミ拾いなどの散策道や登山道の点検・整備を行います。開催日:11月5日(土) 4月から来年の3月までの毎月第一土曜日に実施します。時間:9:00～15:00

● 初級登山教室(講師:佐々木公裕氏)

登山の心得や自然に対するマナーアップ。開催日:平成23年11月13日(日) 時間:9:30～15:00 定員:30名

● アートフラワー講座

平尾台の野草を針金や布などで作ります。開催日:平成23年11月18日(金) 時間:10:00～15:00 定員:10名(材料費:2,000円)

● びん葉巻岩ハイキング

晩秋の草原を彩る草紅葉を味わいます。開催日:平成23年11月27日(日) 時間:9:30～15:00 定員:30名

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。※切は開催日の一週間前まで必着。

● 羽庭写真展

南大東島のカルスト 写真展
出展者:浦田健作博士(洞窟学会副会長)
展示数:46点
開催日:9月1日(木)～11月29日(火)
場所:センター1Fエレベータホール

● アートフラワー 野の花作品展

「平尾台野の花の会」代表 山岸三代子氏と受講生の皆さんが製作した平尾台に咲く野草を題材にした作品展
開催日:10月1日(土)～11月29日(火)
場所:センター1F展示室

★ カルスト文化祭作品募集

募集期間:11月1日～11月29日(火)
募集内容:平尾台をテーマとしたオリジナル作品(絵画・写真・俳句・工作など)
展示期間:12月1日(木)～2月28日(火)
展示場所:1F展示室&エレベータホール
・作品はセンターまでお持ちください。
・キャプションは各自で作成して下さい(簡易なものセンターで作成いたします)。
・展示終了後、作品は返却いたします。

石のひつじ だより

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

TEL093-453-3737 FAX093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>

〈開館時間〉9:00～17:00

〈休館日〉月曜日(祝日の場合は翌日)

平尾台の野草だより

11月上旬から中旬にかけて見かけた野草たちです。今年は秋の野草が例年になく素晴らしく、平尾台の草花を愛でる方々で賑わいました。シマカンギクが咲くと今年の野草もそろそろ終わりを告げます。



☆ イベント報告 ☆

「秋の野草観察会」10月26日(水)

好天に恵まれた絶好の観察日和。コース：センター～農道～不動坂～不動山～堂金山～エノハの淵～茶ヶ床～深窪～山神社～センター。三班に別れて野草に詳しいボランティアの方々を中心に、野草や景観などについて解説して頂きながら、のんびり歩きました。ヒメヒゴタイ、リンドウ、ムラサキセンブリ、ウメバチソウ、アキノキリンソウ、ハバヤマボクチ、ノダケ、ヤマジノギク、ヤクシソウなどの秋の野草を満喫しました。参加者：一般38人、ボランティア7人、スタッフ1人



「初級登山教室」11月13日(日)

環境省自然公園指導員の佐々木公裕氏による登山の心得や自然に対するマナーアップ講座。今回はラクダ山に登りました(コース：センター～千貫岩～ラクダ山～三笠台～不動坂～不動山～センター)。ラクダ山に近年設けられている防火帯にはリンドウなどの野草がたくさん咲いていました。下山後、座学では登山計画の大切さなどを学びました。「これを機に山登りを始めたい。」などの感想をいただきました。参加者：一般34人、ボランティア6人、スタッフ1人



☆ イベント情報 ☆

◆ 散策コース整備ボランティア ◆

木製案内板の補修、草刈、ゴミ拾いなどの散策道や登山道の点検・整備を行います。開催日：12月3日(土) 4月から来年の3月までの毎月第一土曜日に実施します。時間：9:00～15:00

◆ アートフラワー講座 ◆

平尾台の野草を針金や布などで作ります。開催日：平成23年12月9日(金) 時間：10:00～15:00 定員：10名(材料費：2,000円)

◆ ミニ門松づくり ◆

お正月用に小さな門松づくりにチャレンジ。開催日：平成23年12月18日(日) 時間：9:30～12:00 定員：30名 参加費：500円/一対

◆ 親子で楽しむ紙作り ◆

竹や紙で作る凧作り教室。開催日：平成23年12月25日(日) 時間：9:30～12:00 定員：20名 参加費：500円/1枚

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※複数で申し込まれる方は全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。
※切は開催日の一週間前まで必着。

◆ カルスト文化祭 ◆

平尾台をテーマにした絵画、写真、俳句、工作物など、一般募集した作品を展示します。展示数：応募された点数 開催日：12月1日(木)～2月29日(水) 場所：センター1F展示室

平尾台の生きもの

昆虫 (カマキリ)

秋も深まると、カマキリの仲間があちこちに徘徊している姿をよく見かけます。バッタなどを捕食し、交尾をし、産卵しています。道路上にも出てくる為、車に轢かれ命を落とすカマキリも多い。



今年は、平尾台のススキを楽しみにしている来訪者にはとても残念な年になりました。ススキが唯一見応えのある場所は、四方台南東の斜面だけでした。来年がどうなるか心配です。

地域行事

防火帯作り

毎年早春に行われる野焼きの準備として9月下旬から11月にかけて防火帯作りが行われます。防火帯の役目は野焼き時の火が目的以外の草原や森林に燃え移らないようにすることです。防火帯作りは、先ず20mまたは10m幅で草刈を行い、刈った草が枯れた頃に火入れを行います。



今月の一枚

